

C O N T E N T S

■ 理事長室から 3

【特集】

船用動力システムにおける環境問題と
海技研の研究 4

■ 寄稿：海洋再生可能エネルギーを担う 11
荒川 忠一・東京大学大学院工学系研究科教授

海技研の研究紹介

空気潤滑のための掃気バイパス 12
福田 哲吾

主機関の排熱を利用したバラスト水処理装置の開発 15
山根 健次

青春グラフィティ

若手研究者に聞く③ 18
藤本 修平

海外だより

放射性物質輸送の国内外連携 22
近内 亜紀子

新造船紹介

世界初の新造ハイブリッド自動車船
「EMERALD ACE」 23
株式会社商船三井 技術部

新造船写真集

文潮 / FORTE DE SAO FELIPE / CLIFTON BAY /
XIN XIANG HAI 26

TOPIC

7月22日に研究施設を一般公開 2
田村兼吉運航・物流系長が横国大で出前講座 28
三鷹・第六中の生徒5人が2日間の職場体験 28
郵船 / MTIグループの研修受講者が施設見学 29
太田国際連携センター長が都内で出前講座 29
潮流発電用タービン模型の性能実験を公開 30
インターカレッジサークルの学生6名が施設見学 30
JICA研修員9名が「海の10モード」を受講 31
ベルリン工科大学のR・Stark教授が来所 31

【おしらせ】

11月20日、
テクノオーシャン2012オーガナイズドセッションのご案内 32



EMERALD ACE

TOPIC

夏の一般公開



正門前



2年ぶりに公開した400m水槽



大賑わいの物流シミュレーション

7月22日に研究施設を一般公開
来場者2,604人と過去最高更新

「海の月間」行事の一環として7月22日に三鷹本所の研究施設を一般公開しました。当日は、午後3時までの最高気温が22℃と涼しかったこと（昨年は31℃）、また小・中学校が夏休みに入った最初の日曜日だったことなどから来場者は昨年を400人強上回る2,606人を数え、夏の一般公開としては2年連続で過去最高を更新しました。

夏の一般公開は、一般の方々に当研究所の理解を深めていただくとともに、次代を担う子供たちが科学や先端技術への関心を高めることを目的に、毎年、海の月間の7月に開催してきました。今回は、昨年に続き日曜日開催としましたが、天候にも恵まれて大盛況のうちに終えることができました。

当日は正門、東門とも午前10時の開門時刻前に来場者が詰めかけたため、10時を待たずに開門しました。その後も大勢の人々が来場し、午後2時前に2000人を突破。その後も増え続け、午後2時過ぎには昨年の来場者数(2,194人)を上回りました。当日は猛暑を見込み、熱中症対策として救護室や臨時休憩所、熱冷ましシートや氷などを用意していましたが、幸いなことに発症者は一人も出ませんでした。

また、来場者のうち、1800人の方々にアンケート回答を頂戴しました。回答率は約70%に達しました。昨年同様、「日曜日の開催で家族全員が来てよかった」「大人も子供も楽しめた」「ぜひ来年も来たい」などの声が多く寄せられました。また、公開施設のうち、昨年は震災の影響を受けた400m水槽の公開を中止しましたが、今年は2年ぶりに再開し、アンケートでは同施設の公開復活を喜ぶ意見も寄せられました。

なお、大阪支所の一般公開は諸般の事情を踏まえ、開催を見送っています。